

1. 策定にあたって

策定の背景

- 少子高齢化の進展
- 地域経済の縮小
- 税収の減少や社会保障の増大

チャンス

- 交通アクセスの利便性向上
- 外国人観光客の急増
- 地方創生による国からの支援
- 和歌山市産業振興基本条例の施行

本市が活力を維持し、更に発展していくため、産業振興を重点的に推進し、経済の活性化を図る必要があります。そのための目標や実現に向けた方向性を明確にするため、産業振興ビジョンを策定しました。

2. 産業の現状

〈産業全体〉

- 製造業、卸売・小売業、医療・福祉が主な産業
- 製造業、医療・福祉、教育・学習支援業などが全国と比べ集積している（付加価値額の特化係数が高い）
- 労働生産性は、建設業、製造業、教育・学習支援業を除き、全国よりも低い

〈製造業〉

- 付加価値額は、化学、鉄鋼、はん用機械器具が製造業の約8割を占める（全国比でも高い割合）
- 事業所数では、化学、繊維、木材、家具、皮革などが全国と比べ集積している（地場産業の集積）
- 製造業全体の労働生産性も全国よりも高い

〈サービス産業〉

- 産業全体の事業所・従業員数の約8割を占める
- 労働生産性は全国よりも低い
- 卸売・小売業と医療・福祉などが主な産業
- 縮小傾向にある商業（卸売・小売業）
- 労働生産性が低く、人手不足の医療・福祉

〈農林水産業〉

- しょうが、だいこん、マダイ、しらす、アシアカエビなどが有名
- 農業就業人口の減少と高齢化
- 漁業就業人口の減少
- 6次産業化事例は未だ少ない

〈観光業〉

- 日帰客数、宿泊者数ともに増加傾向にある
- 特に外国人観光客が急増している
- 宿泊者の約4割は近畿圏内から
- 外国人観光客はアジア諸国が中心（欧米諸国は少ない）

〈その他〉

- 全国と比べ、低い開業率・廃業率
- 職種により有効求人倍率にばらつきがある
- 労働力人口の減少、若年層の転出超過
- 全国より低い女性・高齢者の就業率
- 女性の非正規雇用率が全国よりも高い

3. 産業の強み、弱み

強み

- 競争力の高い製造業の集積
- インフラ整備の進展によるアクセス性の向上
- 企業立地環境の充実
- 歴史、文化、自然など魅力的な地域資源
- ブランド化や6次産業化の可能性を秘めた本市と周辺地域の農林水産物
- 潜在的に多いUターン希望者
- 東京や大阪など都市部と比較して優れた様々な生活環境

弱み

- 開業率の低さ
- 製造業の比率が高いことによる景気の影響の受けやすさ
- サービス産業の労働生産性の低さ
- 衰退が進む商業
- 宿泊者数の割合が低いことなどによる観光消費額の少なさ
- 認知度を高めることができていない地域資源
- 若年層の流出と人材不足
- 労働市場のミスマッチ、女性の就業率及び正規雇用率の低さ

4. 目指すべき姿

市の産業の目指すべき姿は、事業者と関係機関、市民、市が相互に協力して総合力を発揮し、地域資源を活用することによって、経済の活性化が実現された状態です。その実現のための方向性を3つに集約し、基本目標として設定します。



活性化イメージ

- 独自の技術や自社ブランドを持った企業、質が高くきめ細かなサービスを提供する企業が数多く存在。
- 製造業の市外への出荷額は好調で、取引や共同開発が活発なため、関連企業への波及効果も大きい。
- 魅力的な地元産品やサービスが充実し、市民の市産品に対する愛着もあるため、市内消費が活発に。
- 6次産業化による農水産物の関連商品の市外への出荷も好調。
- 多くの観光客を惹きつけており、観光業が本市の成長を牽引する産業のひとつに。
- 「しごと」と「ひと」が互いに呼び合う好循環、まちに賑わいがあり、便利で快適な暮らしが実現。

基本目標

1

域外から稼ぐ力の強化と域内経済の好循環の創出

地域経済は、製造業をはじめとする域外市場産業が域外から資金を稼ぎ、稼いだ資金が小売業をはじめとする域内市場産業に円滑に流れて循環することで、活性化していきます。

- ⇒製造業の持続的発展、観光業などの活性化による稼ぐ力の強化
- ⇒サービス産業の労働生産性の向上、開業率の向上等による好循環

基本目標

2

和歌山市の特性を活かしたブランドの確立

人口減少社会においては、人・企業・資金など地域経済を支える様々な要素がより魅力あるところに流れる傾向が顕著になると予想されます。

- ⇒本市の魅力を高め、他地域との差別化を図る、地域としてのブランドの構築
- ⇒事業者によるブランド力の高い製品・サービスの創出

基本目標

3

働きやすく、住みよいまちの実現

本市は進学や就職をきっかけとする転出超過や自然減が続いています。本市経済の活性化のためには、本市で働く人、生活する人の確保が必要不可欠です。

- ⇒働きたい人にとって働きやすい環境
- ⇒地域住民にとって魅力的な生活ができる環境
- ⇒事業者にとってメリットを感じることができる環境

5. 和歌山市の産業戦略

本市の産業の現状と今後の目指すべき姿を踏まえ、基本目標を達成するために必要な取組を、地域資源の活用を基礎とした4つのテーマに基づく12の戦略として構築します。

テーマ① 既存産業の更なる成長促進

戦略1-1 製造業の強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長促進

地域の中核的企業として成長が見込まれる企業を発掘し、成長を促進していきます

- 企業情報や現場ニーズの積極的な収集
- 中核的企業候補の発掘と関係機関と連携した集中的な支援
 - ・コネクターハブ企業、ニッチトップ企業、オンリーワン企業
 - ・コネクターハブ企業に材料等を供給する企業群
 - ・革新的な挑戦や独自の技術等により高付加価値を生み出す企業

戦略1-2 歴史と伝統ある産業の持続的な発展を目指すためのブランド化

繊維、木材、家具、皮革などの地場産業が、競争力を持った産業として持続していくため、ブランド化等を促進します

- 独創的、革新的な技術開発への支援
- デザイン性や機能性の高い製品開発への支援
- 海外市場を視野に入れた新たな販路開拓への支援
- 国内外の競争に打ち勝つための自社ブランド、地域ブランドの創出への支援

戦略1-3 地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

サービス産業の労働生産性を向上させるため、付加価値の増加や業務の効率化を図ります

- 地産地消の推進、公共調達への市産品優先活用
- サービス産業とものづくりとの融合
- 生産性向上のための先進的な取組事例の提供
- 地域商業、医療・福祉産業の効率化、付加価値向上

テーマ② 新事業創出と産業間連携等の促進

戦略2-1 生活を豊かにする新ビジネスの創出と創業者の育成

意欲ある創業者や既存企業が新たにに取り組むビジネス（第二創業）を支援し、新事業の創出を図ります

- 創業者の各ステージにおける切れ目のない支援
- 第二創業のための技術開発や販路開拓への支援
- 女性やアクティブシニアなど多様性を生み出すための創業支援
- コミュニティビジネスなど社会的課題を解決する事業の創出促進

戦略2-2 和歌山の特産品・特性を活かしたコラボレーションの促進

地域の特産品や特性を活かしたコラボレーションを促進し、新たなイノベーションが起こりやすい環境づくりを進めます

- 県内の特産品を取り込んだ6次産業化
- 果実等加工のための集積拠点の検討
- 異業種交流、企業間連携、産学金官連携などによる産業力の向上
- 関係機関と連携したコーディネート機能の強化

戦略2-3 和歌山の魅力を総動員した企業立地の推進

本市の特性等を活かして誘致活動を強化するとともに、企業支援体制の整備を図ることで、本市への企業立地を推進します

- 市出身経営者や専門家など企業立地アドバイザーの設置
- 本市との関連性に着目した首都圏における企業誘致活動の強化
- 企業用地の確保に向けた産業集積ゾーニングの検討
- 企業ニーズに応える立地環境のレベルアップ(新たな支援策検討)



テーマ③ 観光の稼ぐ力の強化

戦略3-1 地域資源の再評価等によるブランド力の強化と観光資源の創出

地域資源を洗い出し、再評価や整備等を行い、ブランド力の強化と観光資源の創出を図ります

- 地域資源の再評価、ストーリーづくり、日本遺産への申請
- 市民の地域資源に対する誇りや愛着の醸成
- 和歌山市版DMOの整備
- ホテル誘致、和歌山城の整備、夜間景観形成など観光資源の磨き上げ

戦略3-2 和歌山観光の効果的プロモーションによる滞在型観光の促進

和歌山観光の効果的なプロモーション等を実施し、本市への滞在型観光客の誘客を図ります

- 観光発信人やDMOなどによる効果的な情報発信
- 県内観光のベースキャンプ化による滞在型観光の促進
- 第二阪和や京奈和道の整備による広域的な観光ルートの創出
- 夜間観光や体験型観光の創出など滞在型へのしかけづくり

戦略3-3 外国人観光客の誘客拡大

国別の観光動態を分析し、より多くの観光消費を実現するためのターゲット設定を行った上で、誘客拡大のための取組を進めます

- 外国人の国別の観光動態を分析したターゲットの設定
- ニーズの多様性を考慮した観光資源・サービスの創出
- ホームページの充実、検索エンジンのSEO対策、セカンドビジットのターゲット化など効果的なプロモーション
- 地域資源の魅力を活かした誘客へのしかけづくり

テーマ④ 産業を支える「ひと」の確保と「まち」の形成

戦略4-1 和歌山を愛し、暮らし働く人材の育成・確保

本市への転入の促進、若者世代の市外への転出抑制等により、和歌山で暮らし働く人材の確保を図ります

- 積極的なシティプロモーションによる移住・定住促進
- 企業面談会やインターンシップの充実
- 小・中・高からの長期的視点を持った郷土愛の醸成
- 高等教育機関の誘致等による産業人材の確保

戦略4-2 女性・高齢者など誰もが働きやすい環境づくり

労働力の確保と多様な社会のニーズへの対応を図るため、誰もが働きやすい環境づくりを行います

- 出産、育児休業から復帰する女性などを対象とした就労支援
- 高齢者が健康で活躍できる仕組みづくりの検討
- 女性や高齢者が働き続けることができるような体制の整備
- 生活サポートサービスなど新たな働く場の創出

戦略4-3 産業を支えるまちづくりの推進

産業を支えるまちづくりの観点から、都市のコンパクト化、道路・公共交通ネットワークの整備を進めます

- 立地適正化計画等による都市のコンパクト化の推進
- まちなかを新たな事業や雇用を生み出す都市型ビジネスの場に
- 高速道路をはじめとする幹線道路の整備促進
- バス路線のネットワーク強化、LRTなど次世代交通機能の導入等の検討

6. 産業振興ビジョンの推進

産業振興ビジョンの推進を図るため、県、産業関係団体、市民などの各主体とのパートナーシップを構築するとともに、産業振興アクションプランの作成などによる進捗管理を行っていきます。

H28～37年度（計画期間）

- ★国県、事業者、産業関係団体、金融機関、教育機関等、市民とのパートナーシップ構築
- ★産業振興アクションプランの作成 — P D C Aサイクルの構築による事業推進

アクションプランの作成（戦略に基づき具体的事業化）→事業の実施

→産業戦略会議等による検証 →必要に応じた産業振興ビジョンとアクションプランの見直し

和歌山市産業振興ビジョン

発行年月 平成28年3月

発行 和歌山市

編集 和歌山市産業まちづくり局 産業観光部 産業政策課

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地

TEL (073) 435-1040 FAX (073) 435-1262